

## ミャンマーにおける給食事業を通じた職場の栄養改善事業調査

### 事業概要:

1. ミャンマーのヤンゴン郊外の工業団地の日系企業をモデルとして、ワールド産業(給食提供)および国際生命科学研究機構(ILSI Japan)の共同プロジェクトとして、栄養バランスのとれた給食(職場食)の提供および栄養教育、衛生教育等の組み合わせにより、従業員の栄養改善を実現し、更には工場の生産性を改善する可能性について調査を実施する。(2019年)
2. 2019年度に実施した調査に基づき、2021年度にヤンゴン郊外の工業団地における日系の工場をモデルとして、職場の栄養改善(栄養バランスのとれた工場食、栄養強化米の提供および栄養啓発活動の実施)の為に介入試験を実施する予定。介入試験立ち上げのための残課題を解決し2021年度の介入試験、ビジネス立ち上げへとつなげる。(2020年)

(1) 工業団地(ティラワ工業団地、ミンガラドン工業団地)の工場における職場食の実態調査と、栄養バランスのとれた給食提供のモデルとなる工場の選定。栄養改善、栄養に対する行動変容の重点ターゲットとすべき若い女性が多く働く工場を選定。

(2) 栄養バランスのとれた給食の設計:ミャンマー人の食生活では油脂、食塩の過剰摂取、炭水化物(米)の過剰摂取、蛋白質、微量栄養素の不足の傾向があると推定されている。ミャンマー人の嗜好にあつて且つ栄養バランスのとれたメニューを設計する。

(3) 現地政府関係機関、アカデミア等との連携

ミャンマー政府保健省、National Nutrition Center との共同プロジェクトをして推進する可能性を検討。University of Public Health などの現地アカデミアとの連携を検討する。SUN (Scaling Up Nutrition) Business Network 等のグローバルな取り組みと連携する。

(4) 2020年での残課題。

- 介入試験実施のため保健スポーツ省からの許可および倫理審査の承認を得る。並行して、中村学園大学での倫理審査承認を得る。
- ミャンマー保健スポーツ大臣へのプロジェクト説明
- プロジェクト申請に必要な書類作成(役割分担明記)

(5) 想定するビジネスモデル

健康な工場食提供(栄養強化米含む)および、栄養啓発活動の組み合わせにより、工場の従業員の健康、栄養状態が改善され(血液検査等による指標の比較)、結果として工場における労働生産性が改善されること(欠勤率、労働意欲などの比較)を証明し、横展開を図る。



### (ワールド産業提供の工場給食例)

